

45周年記念商品 セキスイハイム『Gシリーズ』を発売

- モダンで深い陰影と多彩な表情を持つオリジナルデザイン外壁「レジデンススタイル-G」を開発
- 室内外を緩やかに繋ぐ「うちそとテラス」でより豊かな空間を実現
- 業界初^{※1}の「HEMS制御」でムリも我慢もしない「エネルギー自給自足型快適住宅」は最終章へ

2016年4月14日
積水化学工業株式会社

積水化学工業株式会社 住宅カンパニー(プレジデント:関口俊一)は、セキスイハイム45周年記念商品として、ロングセラー3商品(パルフェ、ドマーニ、デシオ)に、新たに開発した高耐久磁器タイル外壁「レジデンススタイル-G」を採用した『Gシリーズ』をラインナップし、4月23日(土)より全国で販売を開始します(北海道、沖縄、本州の一部積雪地域を除く)。

「レジデンススタイル-G」外壁を採用した『Gシリーズ』は、邸宅感とスタイリッシュさをあわせ持った外観で、お客様により長く愛着を持っていただける商品として開発。屋内外の中間領域を演出する「うちそとテラス」による住まい方提案や、躯体性能の強化によるZEH^{※2}仕様の対応力向上も盛り込んでいます。当社は、『Gシリーズ』の上市を中心に、建替市場へ積極的な展開を図る考えです。

新商品『Gシリーズ』の特長

累計 30万棟^{※3}を超えるロングセラー3商品に、邸宅感とスタイリッシュさをあわせ持った『Gシリーズ』が登場。

〈素材・空間・快適〉の3つの質にこだわり、エネルギー自給自足率が最大85%^{※4}を可能にするスマートハウスです。

1. モダンで深い陰影と多彩な表情を持つオリジナルデザイン外壁「レジデンススタイル-G」を開発

当社は1982年に工業化住宅としていち早くタイル外壁の商品化に成功。現在に至るまでの30年間で累計7万棟を超えるお客様にタイル外壁を採用した住宅を提供して参りました。この度の45周年記念商品『Gシリーズ』上市にあたり、高耐久磁器タイルの12年ぶりの新柄となる「モダンさ」と「上質感」を合わせ持った「レジデンススタイル-G」を開発。天然石のような素材感と陰影感にこだわったオリジナル外壁材です。内装については、天然銘木の素材感を感じながらも工業化製品としての品質の安定性やお手入れのしやすさを兼ね備えた「銘木プレミアムフローリング」を採用するなど、日々の暮らしに身近な素材にもこだわりました。

2. 室内外を緩やかに繋ぐ「うちそとテラス」でより豊かな空間を実現

「ユニット工法」の特性と技術を活かし、暮らしに豊かさをプラスする半屋外空間「うちそとテラス」を新たに開発。お客様のニーズに合わせて、①プライバシー感の高い「ゆとり間テラス」、②家族が自然と集えるシェア空間「つどいテラス」などをご提案。特に、大型庇(Hルーフ)での軒下空間「つどいテラス」では、二世帯住宅の各世帯が程よい距離感を自然と保てる魅力的な空間を提案します。

3. 業界初の「HEMS制御」でムリも我慢もしない「エネルギー自給自足型快適住宅」は最終章へ

『Gシリーズ』では、アルミ樹脂複合サッシの強化などによりZEH対応力を強化したことに加え、スマートハイム技術の進化によりエネルギー自給自足率は最大で85%を可能にするなど、「エネルギー自給自足型快適住宅」の最終段階へ入りました。

(1) 住宅業界で初めて^{※1}HEMSでオリジナル空調システムの省エネ運転と蓄電池の充放電を制御

HEMS(ホーム・エネルギー・マネジメント・システム)にオリジナル空調システム(快適エアリー/新ウォームファクトリー)と蓄電池を制御する機能が追加となり、省エネ性と経済性が向上しました。具体的には、①翌日の外気温予報を元に、当社の空調システム「快適エアリー」の深夜から翌朝の運転方法をコントロールし、朝の快適性を維持しながらも省エネ性を実現、②蓄積されたHEMSデータを元にした総消費電力量予測と、太陽光発電電力量予測から翌日の蓄電池の充放電時間をコントロール。蓄電池の安心と、再生可能エネルギーの固定価格買取制度(以下、FIT)終了後の経済メリットがさらに向上しました。

(2) 住宅業界で初めて^{※5}定置型蓄電池と電気自動車(V to H)の併設を可能に

住宅業界で初めて定置型蓄電池と電気自動車の併設を可能としました。併設により蓄電容量が最大で35kWhに拡大し、さらに電気自動車不在時でも蓄電池の充放電が可能となるなど、エネルギー自給自足率や、万一の安心感が向上しました。

※1 日本国内の住宅向け定置型蓄電池において、初めて太陽光発電電力量・総消費電力量予測に基づいた充放電時間をHEMSサーバーから配信し、制御することを可能にしました。(2016年4月現在。当社調べ)

日本国内の家庭用空調において、初めて外気温予報を元に深夜運転の制御を行うことを可能にしました。(2016年4月。当社調べ)

※2 ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備え、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの住宅のこと(経済産業省 ZEHロードマップ検討委員会とりまとめ 2015年12月より)

※3 3商品(パルフェ、ドマーニ、デシオ)の合計 326,812棟(2016年3月末売上ベース)

※4 太陽光発電システム(13.4kW)+<V to Heim>EV(30kWh)+蓄電池(5kWh)の場合の当社試算による理論値。

※5 日本国内の住宅向けV to Hシステムにおいて、初めて電気自動車・定置型蓄電池・太陽光発電システム・電力会社からの電力の「4電源」系統連系を可能にしました。(2016年4月現在。当社調べ)

新商品『Gシリーズ』の開発背景

都市部を中心に相続税制改正に伴う資産活用ニーズが発生。賃貸住宅や、二世帯住宅など戸建住宅の建替に根強い需要があります。またこれまでの住宅市場推移から、今後の住宅市場も中額層の市場が大きく減るのに対し、高額層は堅調であると予測されます。今回の『Gシリーズ』はこれらの市場をメインターゲットとして開発しました。

また 2016 年 4 月より電力小売自由化がスタートし、電力契約プランの多様化で電気代への関心が高まっています。また戸建住宅では、2015 年 12 月にZEHの定義が明確化され、本格的な普及が期待されます。ZEHに不可欠な太陽光発電に関しては、太陽光発電の売電価格の低下と買電価格の上昇により、電力の自給自足が求められる時代になると予想されます。当社では既に太陽光発電システム搭載邸の 59%^{*6} のお客様が実際の暮らしの中でゼロエネルギーを達成しています。さらにその上をいくエネルギー自給自足型住宅の完成形に向け、『Gシリーズ』の上市に合わせスマートハイムを更に進化させています。

※6 2014年にご入居のお客様のうち、太陽光発電システム設置邸3,078邸の2015年の電力収支をHEMSデータから解析。

新商品『Gシリーズ』の特長

1. モダンで深い陰影と多彩な表情を持つオリジナルデザイン外壁「レジデンススタイル-G」を開発

『Gシリーズ』では、新たなデザインのオリジナル磁器タイル外壁「レジデンススタイル-G」を標準採用しています。天然石のような素材感と深い陰影があることから、従来以上に重厚な外観を表現できるのが特長です。

磁器タイル外壁は親水性が高いことで汚れにくくメンテナンス費が抑えられるため、長く経済的に暮らしていただくことができます。例えば、モルタル塗装外壁と比べるとメンテナンス費は60年間で約300万円(2階建、128㎡、当社試算)の差になります。当社では1982年に住宅メーカーで初めて磁器タイル外壁採用の商品を発売。その後、普及価格帯～中高価格帯まで、累積7万棟でタイル外壁をご採用いただいています。『Gシリーズ』では、従来のタイル外壁の工場生産による高い価格パフォーマンスはそのままに、「レジデンススタイル-G」外壁をご提供します。

さらに内装の質へのこだわりとして、天然銘木(アッシュ、チェリー、ウォールナット、メイプル)の美しさと、優れた耐久性を備えた「銘木プレミアムフローリング」を追加しました。



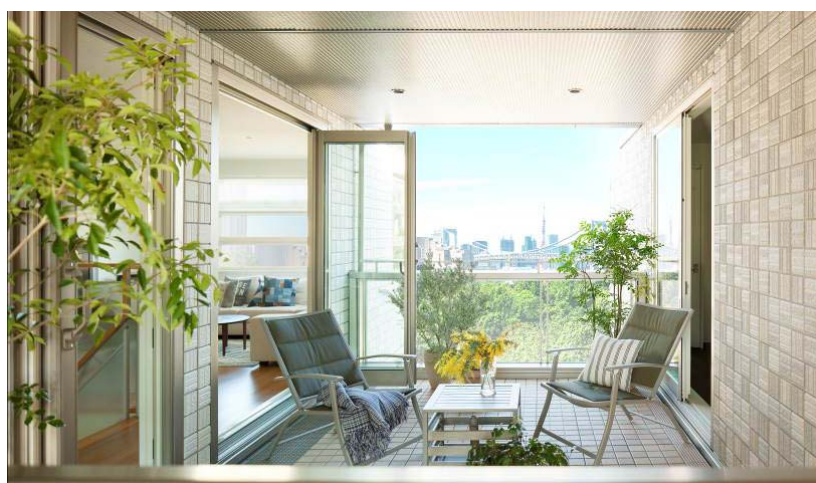
<レジデンススタイル-G>



<銘木プレミアムフローリング-チェリー>

2. 室内外を緩やかに繋ぐ「うちそとテラス」でより豊かな空間を実現

「ユニット工法」の特性と技術を活かし、ユニットの一部を半屋外空間として利用するインナーテラスバルコニー「うちそとテラス」を新たに開発し『Gシリーズ』に導入しました。室内外と緩やかに繋ぐ中間領域で、ひとりで楽しむ「ゆとり間テラス」や、家族や友人と楽しめる「つどいテラス」などと、そこで過ごすひとときにより、暮らしの豊かさをプラスできます。近隣の視線をさえぎりプライバシーに配慮するデザイン、さらには通風や採光に配慮するデザインなど、お客様の敷地条件に柔軟に対応したご提案をいたします。



<うちそとテラス>

3. 業界初の「HEMS制御」で「ムリも我慢もしない」「エネルギー自給自足型快適住宅」は最終章へ

『Gシリーズ』では、ZEHの対応力向上にあたり躯体の断熱性能の強化に取り組みました。加えて、開口部についてアルゴンガスを封入した複層ガラスによるアルミ樹脂複合サッシを標準採用^{※7}しました。さらに太陽光発電による自然エネルギーで、昼も夜も「エネルギー自給自足」の暮らしにさらに近づけるため、スマートハイム(スマートハウス仕様)も進化させました。

なお、当社ではこれまでエネルギー収支ゼロの一步先のステージを見据え、「エネルギー自給自足」をスマートハウスの指標として、商品開発と供給に注力してきました。『Gシリーズ』の発売により、最大で「エネルギー自給自足率」85%、年間で200日以上電力を買わずに暮らすことも可能となります^{※8}。

※7 一部対応していない開口があります。

※8 【試算条件】

○オール電化/U_A値 0.58/快適エアリー(全室空調)○建築地:名古屋/延床面積:127.3 m²○電力契約:中部電力「スマートライフプラン」
○太陽光発電システム(13.4kW)/<V to Heim Plus>EV:日産リーフ(30kWh)+蓄電池(5.0kWh)○蓄電池グリーンモード時(系統との連系時)

(1)住宅業界で初めてHEMSでオリジナル空調システムの省エネ運転と蓄電池の充放電を制御

これまで電力の「見える化」やコンサルティングを行ってきたHEMSを大きく進化させ、一部の機器を制御できるようにしました。例えばオリジナル空調システム(快適エアリー/新ウォームファクトリー)の深夜運転を、HEMSが翌日の外気温予報情報をベースに省エネ制御^{※9}することで、快適性を保ちつつ省エネ性が向上しました。また蓄電池においては、HEMSデータを元に翌日の総消費電力量を予測。さらに太陽光の発電量も予測することで、最適な充放電時間をお客様毎に制御します^{※9}。また、電力小売自由化が始まり電力単価が複雑化する中でも料金プラン^{※10}に合わせた充放電によって、お客様の手間は最小限で停電リスクの軽減とFIT終了後の経済的メリットを向上させることができますようになります^{※11}。

※9 初期及び、季節ごとの設定は必要。

※10 大手電力会社に限る。

※11 お客様毎の最適化は1カ月の電力使用量の実績をベースに行う為、データ蓄積されるまでの期間(2週間)は最適運転されません。

(2)住宅業界で初めて定置型蓄電池と電気自動車(V to H)の併設を可能に

当社では、2014年に電気自動車と太陽光発電電力、商用電力の3電力を連系する「V to Heim(ヴイ・トゥ・ハイム)」を発売。今回住宅業界で初めて蓄電池と電気自動車の併設を可能にし、蓄電容量を最大で35kWhとしました。これにより太陽光発電の電力を従来以上に蓄電することができるようになり、エネルギー自給自足を実現(グリーンモード時)しやすくなりました。また、FIT終了後にもお客様にとって経済的なメリットが拡大できるほか、災害発生による停電時などの安心感も高まります。

販売目標

販売目標 : 2016年度 2,000棟を計画(『Gシリーズ』含むパルフェ、ドマーニ、デシオ全体)



2階建て パルフェ G



2階建て ドマーニ G



3階建て デシオ G